

がんばれ

看護学生委員会ニュース
2021年4月 第250号

看護学生

発行：京都民主医療機関連合会（京都民医連）看護学生委員会
〒615-0004 京都市右京区西院下花田町 21-3 春日ビル 4 階
TEL075-314-5011 E-mail : kangogakusei@kyoto-min-iren.org



新入生のみなさん
ご入学おめでとう
ございます♪♪

もくじ：

2 頁：看護学生委員長から新入生へ
歓迎のメッセージ

3 頁：学校生活の過ごし方

4 頁：インターンシップ・採用説明会
奨学金制度のご案内(あすかい病院)

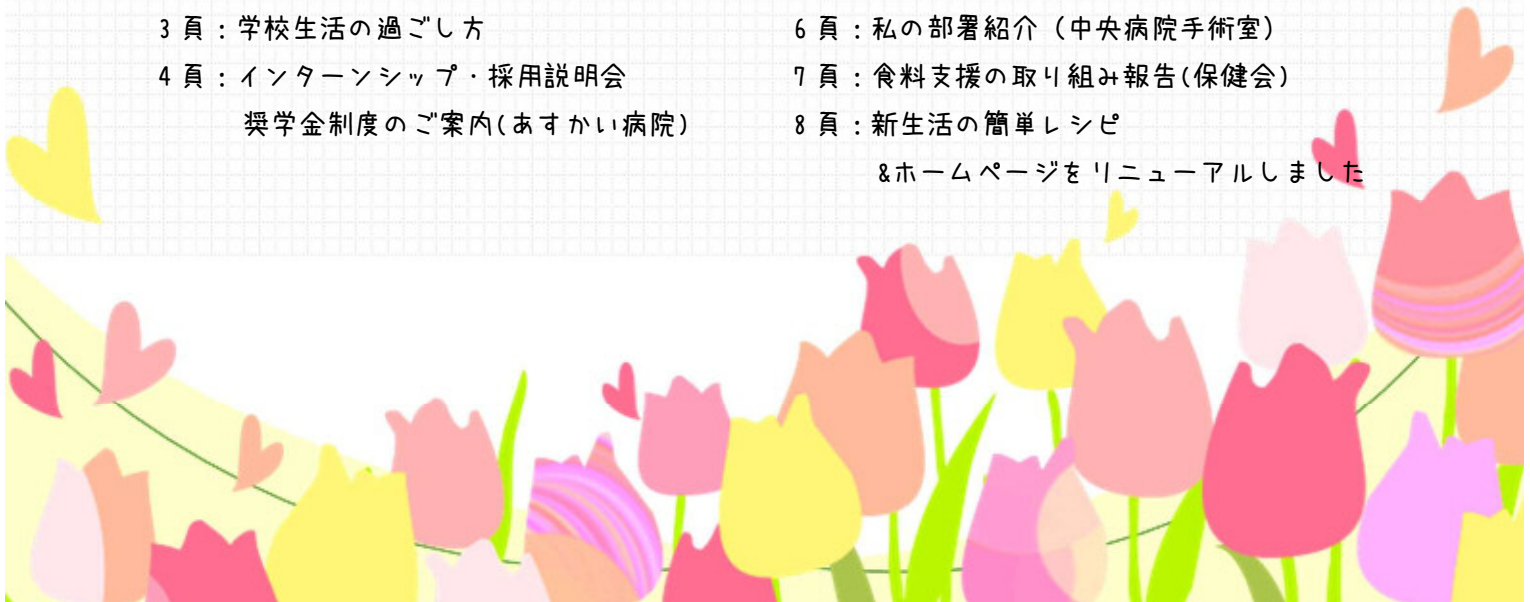
5 頁：わたしが大切にしている看護
(緩和ケア病棟看護師)

6 頁：私の部署紹介(中央病院手術室)

7 頁：食料支援の取り組み報告(保健会)

8 頁：新生活の簡単レシピ

&ホームページをリニューアルしました



看護の勉強をはじめられる新入生の皆様

ご入学おめでとうございます。

京都民医連中央病院で働く看護部の若林です。京都民医連の看護学生委員長をしております。この1年、いろいろな企画や個人面接などでお会いすることもありますのでよろしくお願いします。

昨年度はコロナ感染拡大の影響で大変な1年でした。初めて体験する緊急事態宣言、それに伴う感染対策による自粛生活、様々なイベントの中止、密を避ける生活様式の実践など生活様式、学習状況などの環境が一変する年でした。そのなかで、私たちは様々な心配や不安を感じながら過ごしてきました。

新入生の皆さんは、コロナウイルス感染症で大変になっている医療現場の様子を見ながらも看護師を目指し入学されました。看護師になるという道のりは大変ですが、強い意志と学習を続ける環境づくりがとても大切です。なかなか大変ではありますが、仲間や先輩たちと一緒に頑張っていきましょう。

まだまだコロナウイルス感染症は落ち着いておりません。また、緊急事態宣言が出るほどの広がりになるのではないかと気をもむ毎日です。しかし、治療法やワクチン接種など進んできていることも事実です。

感染予防対策も1年間の実績があります。「正しく知って正しく恐れる」ということを、今一度しっかり実践していきましょう。

京都民医連では、看護学生さんに向けて、毎年、学習会、交流会を企画し皆さんの支援をしております。コロナ禍ではWEB企画が中心となりますが、どんどん参加していただき新しいつながり方で仲間の輪を広げ、楽しい学生生活を送っていきましょう。



京都民医連看護学生委員長

若林 美香代(京都民医連中央病院)

看護学生としての学校生活の過ごし方

近畿高等看護専門学校 教員 江藤美佐子

看護学生の皆さん、こんにちは。この度、京都民医連看護学生委員になりました江藤です。私は、近畿高等看護専門学校で教員をしています。以前は訪問看護ステーションや地域包括支援センター、居宅介護支援事業所などで20年近く働いていました。地域で生活されている場所にお邪魔し、勉強になった経験を学生の皆さんに伝えられたらと思っています。気軽に声をかけてもらえたら嬉しいです。宜しくお願いします。今回は、看護学生としての学校生活の過ごし方を伝えたいと思います。

🌸わたしが看護を目指したきっかけ

私が看護師を目指したのは、幼いころからの夢でした。なんとなく白衣に憧れたのと、小学1年生の時に、交通事故で入院し、「松葉づえで歩けなかったら帰れないよ」と厳しくも優しく毎日歩行練習についてもらった看護師さんとの思い出も看護へ進むきっかけとなりました。

看護師になって20年以上経ちましたが、看護師になって良かったと思っています。それは、何故かという患者さんから色々なことを教えられました。病気だけでなく、その方の生きざまも今の自分に影響を受けています。私は人の役に立ちたいと思っていましたが、逆に教えられる毎日です。

皆さんは、なぜ看護師になろうと思いましたか？

【看護師に必要なもの】

① じっくり人の話に耳を傾けてみましょう

入学してすぐに学ぶ看護技術は「コミュニケーション」です。看護は人を相手にする仕事。高いコミュニケーション能力が求められます。

伝わり方にはレベルがあると言われていて、まずは「聴く」ことをしなければ、不理解・誤解が生じてしまいます。そのためにじっくり相手の話を聞けることが求められます。まずは、授業で先生の言葉に耳を傾けて、理解しようと心がけながら日々過ごしてほしいと思います。

② 安心できる居場所を作り、つながりを大事にしましょう。

看護学校で学ぶ科目は膨大であり、今までのような一夜漬けでは覚えることができません。日々、コツコツ努力が必要です。それをぜひ、一緒に努力し、学び合える仲間を大事にしたいと思います。また、それは、同じ学校の仲間だけでなく、奨学生同士のつながりや、支えてくれる病院関係の方とのつながりも大事です。今も看護学校時の友人は、看護のことが語れ、様々な悩みが相談できる私にとって大切な仲間です。きっと皆さんも、一生のおつきあいが出来る仲間とのつながりを大事にしましょう！

学校・学年を超えたつながりを大切にして

みんなで夢を実現させよう♪



京都民医連あすかい病院

インターンシップ

《半日体験例》

- 8:45 集合・着替え
- 9:00 病棟体験①
- 10:30 病棟体験②
- 12:00 振り返り
- 12:30 終了

《1日体験例》

- 8:45 集合・着替え
- 9:00 病棟体験①
- 10:45 病棟体験②
- 12:30 休憩
- 13:30 病棟体験③
- 14:45 振り返り
- 15:00 終了

随時
受付中！



あすかい病院では、病棟看護師のシャドウイングをするインターンシップを企画しています！

体験は半日でも一日でも可能です。病棟は、《一般急性期》《緩和ケア》《回復リハビリテーション》《地域包括ケア》の4病棟があります。希望部署を1～4選択していただきプログラムします！

あすかい病院の看護に興味のある方はぜひご応募ください！！



※現在 2022 年
卒業生のみ対象

申込はこちらから➡

採用試験・奨学金制度

京都民医連あすかい病院では、2022年度入職の看護師を募集しています。採用試験は夏に行います。また、当法人に就職を希望される学生を対象に奨学金制度もあります。まだ就職先を決めていない、迷っている方はご検討ください。

詳しくはお問合せください。
学生担当：山際（副看護部長）
寺尾（事務）
TEL：075-712-9082
Mail：
egg nurse@shinwakai-min.jp

試験日時：2021年8月7日 9時30分開始
場所：京都民医連あすかい病院
応募資格：2022年8月卒業、
2022年4月入職予定者

○必要書類

- ①自筆履歴書（写真貼付）
- ②卒業見込み証書
- ③成績証明書
- ④健康診断書



対象者：当法人に就職希望される看護学生
（2022・2024・2025年卒業生）
金額：50万～200万円
返済免除：1年の勤務につき50万円の返済免除
寮：奨学生を対象に1万円/月の寮あり
申請の流れ：メールまたは電話でのお申込み後
→奨学金面接
→書類提出
→会議承認後奨学金支給



↑ 申込はこちらから ↑

私の大切にしている看護

私はどんな状況でも、患者さんや家族の思いを知ろうとする姿勢を大切にしたいと思います。祖母の入院中に患者、家族と医療者との間に大きな溝があるように感じて辛かったことや、その後祖母の在宅療養でお世話になった診療所で親身になって話を聞いてもらい助けてもらったことなどを通して、勉強や経験を重ねていっても「普通の人の感覚を忘れない」看護師になりたいと思うようになりました。

看護師として働き始めて8年がたった今も、健康が損なわれ生活が変わってしまう、また大切な家族を失ってしまうという危機に直面した時に誰もが感じる不安や辛い気持ちが、「日常で遭遇することの一つ」となってしまうことがないように願っています。

これ以上の癌の治療はできない、望まない患者さんが入院している緩和ケア病棟では、患者さんも家族も様々な体験を乗り越え、葛藤を抱えてこられており、出会ったばかりの私達には理解できないほどの苦労があります。そのような経験や思いを少しでも知り、残された生活を支えるためには、患者さんや家族に安心して語ってもらえる環境を提供することも大切だと思います。しかし日々の勤務時間内で、患者さんや家族の思いを聴くためにゆっくり時間を取ることが難しいこともあります。

様々な苦悩を抱えている患者さんや家族にとって、身近にいるはずの看護師が声のかけにくい、距離を感じさせる存在になってしまわないようにしたいと思います。そのためにも、患者さんや家族ひとりひとりが、自分がまだ知らないことをたくさん抱えており、こちらに話しかけたいけれどためらっているのかもしれないと意識しながら関わることを大切にしたいと思います。

京都民医連あすかい病院
緩和ケア病棟看護師 富永正江



病院ブログ

新人看護師さんのお仕事
内容を動画で紹介中♪

わたしの部署紹介-手術室-

～「メスを渡す」だけじゃない！手術室看護の大切な役割～

京都民医連中央病院 手術室 藤林ゴウ

手術室はドラマや映画で見るように医師が「メス」というとメスを渡すといった場面を想像されるのではないのでしょうか。手術室の看護師は、器械を渡す役割（器械出し看護）だけを考えてしまいがちですが、手術室看護はそれだけではありません。

器械出し看護では、執刀医がこれからどのように手術を展開していきたいのか、手術を展開していくにあたり、術者の会話の内容から先を読んで器械出しをすることが大切です。最初は手術器械の名前を覚えることや術式理解が大変でした。しかし器械を覚え、勉強することで手術の先を読んだ器械出し看護になり、患者さんの手術時間・麻酔時間が短縮され、手術を無事に終わることが出来ます。

器械出し看護の他にも大切な看護があります。麻酔導入の時点から麻酔科医と連携をとり、リスクや注意点を手術メンバーと共有し、術中の全身管理の役割も担う役割もあります。手術を安全にスムーズに行うために必要不可欠な役割です。具体的には、麻酔看護・安楽な手術体位実践・患者家族の心理支援・多職種間のコーディネートなどがあります。

現在私は、全身麻酔手術における患者さんの身体的変化など患者さんの全身管理や手術を安全に行うための勉強を行っています。麻酔科医や医師との連携を図りながら、患者を中心とした手術ができる手術室看護師を目指しています。



食材支援プロジェクトに参加して

— 支援活動を通して感じたことを今後の看護にも活かす —

先日、食材支援プロジェクトにボランティアとして参加しました。食材プロジェクトとは、コロナ禍で困っている地域の方々に食材を支援するプロジェクトです。

私は看護師として、血圧測定など健康相談コーナーで、地域の方々とコミュニケーションをはかりました。当日は周辺地域から 254 人の方が来場され、大きな反響がありました。多くの方が来場されたことは嬉しかったのですが、それだけ多くの方がコロナ禍において厳しい状態に置かれているのだと感じさせられました。健康相談を通して、感染対策についての相談や食生活についての相談もありました。コロナ禍にこの地域や自分たちの周りで何が起きているのか肌身で知ることができました。

病院受診される方はもちろん、地域に目を向け広い視野を持ち関わっていくことが必要であると再認識させてもらうプロジェクトでした。これまでも生活背景を捉えた看護の実践はしてきました。今後手術室看護を行ううえで、手術室だけで終わらすのではなく、術前術後訪問にも力を入れ病棟との連携を通し患者がどのような生活に戻っていくのかを見据えながらの手術室看護にしていきたいです。



超簡単栄養レシピ ~ 新生活編 ~

新生活応援!

春は生活に何かと変化や動きが起きる季節。活動量も増えるため、新陳代謝も盛んになり体への負担が高まります。コロナ禍で「ストレスや不安が中々消えない」という声もよく聞きます。そんな時は旬の野菜を使ったスープがオススメ！水や熱に溶けやすい栄養素もマルッと逃がすことなく摂りこめ、体も温まるので、こんな時期にはピッタリのレシピです♪

【材料】 2人前

- 新玉ねぎ.....1/2 個
- セロリ.....1/3 本
- ベーコン.....30g
- オリーブオイル...小さじ1
- 牛乳.....400ml
- 塩.....少々
(ベーコンの塩気により適宜)
- コショウ...少々



【作り方】

- ①オリーブオイルを鍋に入れて中火にかけ、薄切りにしたベーコンを炒める。ベーコンから油が出てきたら新玉ねぎとセロリを入れてよく炒める
 - ②新玉ねぎとセロリがしんなりして薄茶色になったら牛乳を加える。沸騰しそうになったら弱火にし、塩・コショウで調味する。
- ※②のあとでミキサーにかけると、よりクリーミーなスープになります。

全日本民医連看護のページがリニューアルしました



見てみてね☆⇒



全日本民医連の看護のページが新しくなりました!!

全国にある民医連の、看護学生さん向けの企画やニュースが掲載されています。リニューアルしたばかりですが、どんどん情報が追加される予定なので、ぜひ一度見てみてください♪

おたよりありがとうございます!!

「がんばれ看学生」と一緒にお届けしているハガキもしくは右の二次元コードから、自由に書いて投稿してください。抽選で図書カード500円分を送りいたします。
(編集担当：永山♪)



こちらからも投稿できます。